

地域包括ケアシステム検討委員会
(第1層 協議体)

令和4年11月21日 (月) 13時30分～

ボランティア養成講座について

- 日程 : 10月13日 (木) ~11月17日 (木)
- 会場 : 高梁文化会館 レクチャールーム
- 応募者数 : 16名 (内2名は令和3年度未修了者)
- 修了者数 : 13名
- いきいきサポーター登録者数 (R3~)
- : 18名 (R4: 9名)
- いきいき生活サポーター活動状況
- サポーター : 3名
- 利用者 : 2名
- 活動内容 : ゴミ出し、風呂・トイレの掃除など

元気なからだづくり隊

○グループ登録数：22

（休止グループ：2）

○令和4年度新規グループ：1件（地区：津川町 今津上）

- ・毎週月曜日 9時30分～10時30分の活動

- ・代表者が地域の高齢化を心配し、自宅・公民館を会場として開始した。

- ・当初は代表者が地域の方はプライドが高く、このような活動に5人も来ないかもしれない、と言われていたが、現在8人ほどが参加している。

○元気なからだづくり隊 交流会、マイスター養成講座を1月下旬～2月上旬に開催を予定している。

通所付添サポート事業

- 通所付添サポート事業 実施団体
 - ・巨瀬「巨瀬町通いの場2020」
 - ・落合「あいあいサポート隊」
 - ・川上「かわかみお出かけ隊」
 - ・川面「ソルティール川面」
- 通所付添サポート事業検討地域（R4）
 - ・松原地区： //
 - ・有漢地域： 新たな通いの場の設置と通所付添
- 通所付添サポーター—令和4年度養成者数：46人
 - ・第1期養成者数：30人
 - ・第2期養成者数：16人
- サポーター—連絡会
今年度中の開催を計画中



個人・グループワーク

地区支援ミーティングに見る課題

地区支援ミーティングとは、生活支援コーディネーター、保健師（健康づくり課）、地域包括支援センターの地区担当者が集い情報を交換、共有するミーティングです。



- ・ボランティアの担い手がいないので将来的に活動継続が危ぶまれる
- ・役員の不足で休止や中止する交流の場、通いの場が増えている
- ・コロナ禍で集まる機会、交流の機会が減り意欲や認知機能の低下が気になる
- ・買物や受診など生活の交通手段が足りない、便が悪い
- ・ゴミステーションが近くにないので捨てに行くことが不便



人手不足

→人がいない？ それとも やってみようという人がいない？

→人がいない？ それとも やってみようという人がいない？

高梁市の人口と介護認定者数について（令和4年7月時点）

- ・ 65歳以上（1号）：11,796人
 - 65歳～74歳：4,997人
 - 75歳～84歳：3,578人
 - 85歳～：3,221人
- ・ 40歳～64歳（2号）：7,845人
- ・ 18歳～39歳：5,357人
- ・ 介護認定者数（1号+2号）：2,808人
- ・ 被保険者の内未認定者数：**16,833人**

16,833人いる未認定の被保険者は、これから介護が必要になる人だが、逆に言うと、介護認定を受けず生活できている人。

つまり、人はいる。

第8期 介護保険事業計画における目標

介護保険制度の持続可能性を維持しながら、高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができること。

通いの場

『 ふれあいサロン 』

目的：身近な公民館や集会所、民家などで地域の人たちと集まる場所をつくりたい。

内容：年4回以上の実施で、1回当たり5人以上が参加する。

窓口：高梁市社会福祉協議会 地域福祉課（ ☎：0866-22-7243 ）

『 元気なからだづくり隊 』

目的：地域の方と一緒に体操に取り組み、元気なからだをつくりたい。

内容：65歳以上の方が3人以上集まって、週1回60分の活動をする。

窓口：高梁市地域包括支援センター（ ☎：0866-21-0300 ）

『 認知症カフェ 』

目的：認知症の方や、その家族を含めた地域の方が集える場所をつくりたい。

内容：月に1回、65歳以上の方が3人以上集まって、週1回60分以上の活動をする。

窓口：高梁市地域包括支援センター（ ☎：0866-21-0300 ）

他にも

ミニデイ、コミュニティカフェ など

在宅生活支援・通いの場 ボランティア

通いの場ボランティア

各地域のミニデイサービスやコミュニティカフェなどの運営や調理、送迎などを地域のボランティアさんと一緒に活動します



いきいき生活サポーター

掃除、ごみ出し、買い物など高齢者のちょっとした困りごとのお手伝いをする有償ボランティアです



第8期 介護保険事業計画における目標

介護保険制度の持続可能性を維持しながら、高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができること。

介護保険制度の持続可能性について

○給付費の推移（単位：千円）

平成27年度：4,278,950円（100.0%）

平成28年度：4,241,628円（99.1%）

平成29年度：4,334,544円（101.3%）

平成30年度：4,427,379円（103.5%）

令和元年度：4,532,416円（105.9%）

令和22年度：4,548,153円（106.3%）（推計値）

○介護保険料基準額の推移

第6期（平成27年～）：67,200円（月額5,600円）

第7期（平成30年～）：75,600円（月額6,300円）

第8期（令和3年度～）：79,200円（月額6,600円）

令和22年度：106,380円（月額8,865円）（推計値）

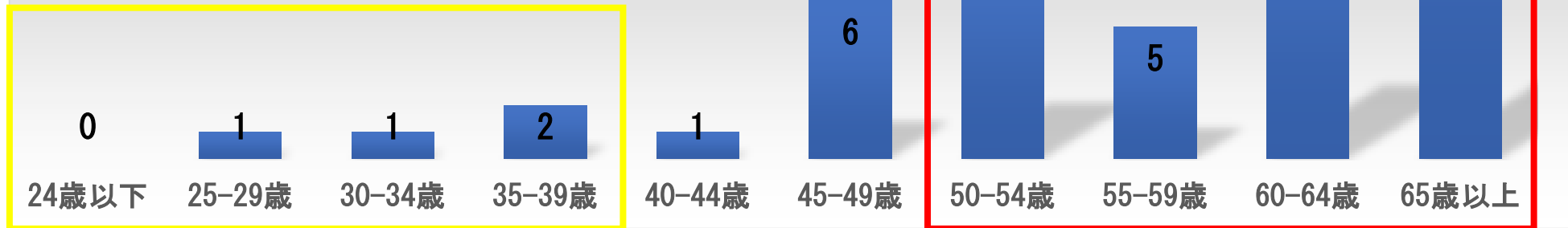
○ヘルパー

⇒不足と高齢化が深刻な問題

高梁市内年齢別ヘルパー数 (R2. 7. 8)

⇒50代以上が8割超

⇒30代以下は4人のみ



	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65歳以上	合計
人数	0	1	1	2	1	6	9	5	12	19	56
割合	0.0%	1.8%	1.8%	3.6%	1.8%	10.7%	16.1%	8.9%	21.4%	33.9%	100.0%

第8期 介護保険事業計画における目標

介護保険制度の持続可能性を維持しながら、高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができること。

目標達成のヒント

- **役割をもつこと、交流の機会をつくることが目標と深く関係する**
- 役割や交流をもつ選択肢に「通いの場の参加や立上げ」、
「ボランティアへの参加」がある
- 高齢でも元気であることは、好影響を波及する



一人でも多くの市民に理解してもらい、
意識してもらい、協力してほしい。

※全員は無理でもいい！！

みんなの協力が
必要なんじゃ



例えば

あなたは車が普及していない社会の首長です。

住民の生活を豊かにしたいと思い、車を普及させたいと考えています。その社会には人はいますが、車に乗ってみようという人がいません。

ひとりの優秀な営業マンが、一人ひとりに合った車を売りたいと声をかけてもなかなか普及しません・・・。

 **車に乗ってみようと思う人を一人でも増やすこと。**

何をどのように伝えれば、車に乗ってみようと思う人が一人でも増えるだろうか。

・・・柔軟でわかりやすく現実的な視点で・・・

例えば②

○何を？（キャッチフレーズ？イメージキャラクター？介護予防の必要性？）

- ・一緒に取り組もう！介護、ロコモ、フレイル予防！
- ・ピンピンコロリマン
- ・介護給付費の抑制は介護保険料の抑制につながることを伝える。
- ・介護保険事業計画のダイジェスト版をつくる。

○どのように？

- ・システム検討委員で一緒に番組をつくり吉備ケーブルで流す。DVDにして配布する。
- ・介護保険被保険者証発送時（65歳時点）にチラシを同封する

他には？？？

（委員皆様の経験や視点から考えてください。）

個人・グループワーク

- 個人ワーク 10分

- グループワーク 50分

記録（発表）者を決めてください（包括職員以外でお願いします）。

進行は主任ケアマネジャーの方をお願いします。

～×毛～

個人ワークのテーマ（氏名_____）

1、介護予防（役割や交流をもつこと）がなぜ必要なのかを広く理解してもらうために

① 何を伝えるか

② ①をどのような方法で誰に伝えるか（どのような媒体、コネクションでどんな人を対象にするか）

③ ②の実践にはどのような連携や協力が必要か（個人や団体など）

例えば ○○さんと私が一緒にやればこんなことができるだろう

○○さんと○○さんが一緒にやれば、あんなことができるかも

2、市民の介護予防（役割や交流をもつこと）への意識や取り組み状況を知るために今年と3年後に市民にアンケートをとるなら、どのような質問がいいか。

1、介護予防（役割や交流をもつこと）がなぜ必要なのかを広く理解してもらうために

① 何を伝えるか

② ①をどのような方法で誰に伝えるか（どのような媒体、コネクションでどんな人を対象にするか）

③ ②の実践にはどのような連携や協力が必要か（個人や団体など）

例えば ○○さんと私が一緒にやればこんなことができるだろう

○○さんと○○さんが一緒にやれば、あんなことができるかも

2、市民の介護予防（役割や交流をもつこと）への意識や取り組み状況を知るために今年と3年後に市民に

アンケートをとるなら、どのような質問がいいか。